# 保健管理センター

#### **Health Administration Center**

所長(併) 井上 博 Hiroshi Inoue 講 師 松井 祥子 Shoko Matsui 臨床心理士 谷野 幸子 Yukiko Tanino 技 官 四間丁千枝 Chie Shikencho

## 原著

- Miyabayashi K., Maruyama M., Yamada T., Shinoda C., Hounoki H., Kanatani Y., Shinoda K., Kawagishi Y., Miwa T., Suzuki K., Arai N., Hayashi R., Matsui S., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Isoproterenol suppresses cytokine-induced RANTES secretion in human lung epithelial cells through the inhibition of c-jun N-terminal kinase pathway. Biochem Biophys Res Commun, 350: 753-761, 2006.
- 2) Yamada T., Maruyama M., Fujita T., Miyabayashi K., Shinoda C., Kawagishi Y., Fujishita T., Hayashi R., Miwa T., Arai N., Matsui S., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Ionizing radiation suppresses FAP-1 mRNA level in A549 cells via p53 activation. FEBS Lett, 580: 4387-4391, 2006.

### 学会報告

- 1) 河岸由紀男,三輪敏郎,鳴河宗聡,林 龍二,荒井信貴,松井祥子,丸山宗治,小林 正:ゲフィチニブによる効果が得られた KL-6 高値の肺癌の一例.第 53 回日本肺癌学会北陸部会,2006,2,金沢.
- 2) 正木康史, 菅井 進, 山本元久, 高橋裕樹, 佐伯敬子, 杉山英二, 松井祥子, 中田真司, 折口智樹, 江口勝美, 下山久美子, 北川和子, 小川法良, 西山 進, 西森 功, 梅原久範: 43 例の AMOLPS (自己免疫性リンパ増殖性多臓器疾患)の臨床的解析.第50回日本リウマチ学会総会学術集会, 2006, 4, 長崎.
- 3) 宮林弘太郎,丸山宗治,山田 徹,篠田千恵,篠田晃一郎,河岸由紀男,三輪敏郎,藤下 隆,荒井信貴,林 龍二,松井祥子,小林 正:ヒト気道上皮細胞での isoproterenol の RANTES 産生抑制作用への c-jun N-terminal kinase 経路の関与 . 第 58 回日本呼吸器学会合同北陸地方会,2006,5,金沢.
- 4) 黒田一成,篠田晃一郎,三輪敏郎,浦風雅春,河岸由紀男,林 龍二,荒井信貴,松井祥子,丸山宗治,小林 正: 縦隔気腫と皮下気腫を併発した間質性肺炎の1例.第58回日本呼吸器学会合同北陸地方会,2006,5,金沢.
- 5) 松井祥子,河岸由紀男,鳴河宗聡,三輪敏郎,林 龍二,荒井信貴,丸山宗治,小林 正:肺病変を合併した Mikulicz 症候群の臨床的検討.第46回日本呼吸器学会学術講演会,2006,6,東京.
- 6) 河岸由紀男,三輪敏郎,林 龍二,荒井信貴,鳴河宗聡,藤下 隆,松井祥子,丸山宗治,小林 正:当科における市中肺炎入院症例の臨床的検討.第46回日本呼吸器学会学術講演会,2006,6,東京.
- 7) 山田 徹, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 篠田千恵, 三輪敏郎, 河岸由紀男, 藤下 隆, 林 龍二, 荒井信貴, 松井祥子, 小林 正, 赤川直次: ProGRP 高値を示した珪肺患者 2 症例. 第 46 回日本呼吸器学会学術講演会, 2006, 6, 東京.
- 8) 鈴木健介,河岸由紀男,三輪敏郎,山田 徹,鳴河宗聡,荒井信貴,林 龍二,松井祥子,丸山宗治,小林 正: 当科における Gefitinib 投与例の検討.第54回日本肺癌学会北陸部会,2006,7,高岡.
- 9) 多喜博文,河岸由紀男,石木 学,鈴木ひかり,山田 徹,岩田 実,松井祥子,篠田晃一郎,杉山英二,小林 正: Infliximab 治療導入後早期に発症したびまん性肺疾患の2例.第18回中部リウマチ学会,2006,9,三重.
- 10) 小林直子,山田 徹,篠田晃一郎,岩田 実,多喜博文,松井祥子,杉山英二,小林 正:強皮症に腸管嚢腫様気腫症を合併した一例.第18回中部リウマチ学会,2006,9,三重.
- 11) 吉村 築,鈴木健介,河岸由紀男,宇野立人,浦風雅春,三輪敏郎,林 龍二,松井祥子,丸山宗治,小林 正: 化学療法が奏功した胸腺腫術後再発の1例.第200回日本内科学会北陸地方会,2006,9,富山.
- 12) 小林直子,岩田 実,山田 徹,松井祥子,小橋親晃,宇野立人,石木 学,薄井 勲,平谷和幸,山崎勝也,浦風雅春,小林 正,林 央周,遠藤俊郎,笹岡利安,福岡順也,加藤弘巳,沖 隆:下垂体 macroadenoma による Cushing 病の一例.第6回日本内分泌学会北陸支部学術集会,2006,10,石川.
- 13) 丸山宗治,山田 徹,鈴木健介,三輪敏郎,荒井信貴,河岸由紀男,林 龍二,松井祥子,小林 正,折原正周, 土岐善紀,泉 三郎:当科入院関節リウマチ患者の呼吸器病変の検討 .第 58 回日本呼吸器学会合同北陸地方会 ,2006, 11,福井.

- 14) 河岸由紀男, 林 龍二, 三輪敏郎, 荒井信貴, 松井祥子, 鈴木健介, 山田 徹, 丸山宗治, 小林 正, 藤田 聡: 化学療法後に器質化肺炎を合併し特異な経過を示した肺腺癌の一例 .第 58 回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 11. 福井.
- 15) 宮林弘太郎, 丸山宗治, 河岸由紀男, 荒井信貴, 山田 徹, 三輪敏郎, 林 龍二, 松井祥子, 小林 正: 作用薬 イソプロテレノールのヒト気管支上皮細胞での RANTES 産生抑制機序の解析. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学 術大会, 2006, 11, 東京.
- 16) 鈴木健介,河岸由紀男,三輪敏郎,林 龍二,山田 徹,荒井信貴,松井祥子,丸山宗治,小林 正:当科における Gefitinib 投与例の解析-ガイドライン前後における患者背景・奏功率の変化について- 第 47 回日本肺癌学会総会, 2006,12,京都.
- 17) Masaki Y., Dong L., Sugai S., Kitagawa K., Yamamoto M., Takahashi H., Saeki T., Nakata S., Sugiyama E., Matsui S., Origuchi T., Nishiyama S., Nishimori I., and Umehara H.: Analysis of 43cases of autoimmune multi-organ lymphoproliferative syndrome (AMOLPUS): Proposal a new clinical entity. IXth International Symposium on Sjögren's Syndrome, 2006, 4, Washington D.C.
- 18) Matsui S., Sugiyama E., Taki H., Kawagishi Y., Miwa T., Arai N., Hayashi R., Maruyama M., and Kobayashi M.: Pulmonary involvement in patients with primary Sjögren's syndrome. ATS 2006 International Conference, 2006, 5, San Diego.

### その他

- 1) 山田 徹,丸山宗治,宮林弘太郎,篠田千恵,河岸由紀男,林 龍二,松井祥子,小林 正:電離放射線による細胞表面へのFas 誘導機序の解析.第 12 回癌治療増感研究会,2006,5,富山.
- 2) 松井祥子: 関節リウマチと肺. 呉西地区医療講演会 2006, 7, 高岡.
- 3) 松井祥子: たばこの害について. 早月中学校 2006,7, 滑川.
- 4) 松井祥子:「たばこの害」について.雄山中学校 2006,7, 立山.
- 5) 松井祥子:「たばこの害」について. 県立上市高等学校 2006, 7, 上市.
- 6) 松井祥子:健康づくりについて. 平成18年度生涯生活設計セミナー 2006,7, 高岡.
- 7) 谷野幸子: 人間関係理解のための研修. 富山赤十字看護専門学校 2006,7, 富山.
- 8) 山田 徹,小林直子,岩田 実,松井祥子,杉山英二,小林 正:ST合剤により低ナトリウム血症と高カリウム血症をきたした関節リウマチの一例.第21回富山県リウマチ性疾患研究会,2006,8,富山.
- 9) 松井祥子,朴木博之,篠田晃一郎,多喜博文,杉山英二,小林 正:原発性シェーグレン症候群における呼吸器病 変の臨床的検討.第15回日本シェーグレン症候群研究会,2006,9,横浜.
- 10) 小林直子,岩田 実,山田 徹,松井祥子,小橋親晃,宇野立人,石木 学,薄井 勲,平谷和幸,山崎勝也,小林 正,浦風雅春,林 央周,遠藤俊郎,笹岡利安,福岡順也,加藤弘巳,沖 隆:高分子量 ACTH の産生を認めた下垂体 microadenoma による Cushing 病の一例.第32回富山内分泌代謝セミナー,2006,11,富山.